

このコーナーでは、チャレ通編集室が読者と考えたい、気になる情報を取り上げます。



“デジタル教科書”の時代も間近!?

「デジタルで変わる小学生の教育」

大画面テレビのような「電子黒板」や文章を読むだけでなく書いたり、音を聴いたり動画を見たりできる「デジタル教科書」。身のまわりの生活と同じように、教育もデジタルによってどんどん変化しています。その最新情報をご紹介します。

お話



なかむら い ち や
中村伊知哉先生

慶應義塾大学メディアデザイン研究科教授。
デジタル教科書教材協議会事務局長。

2020年までに 教室での学び方が変わる!?

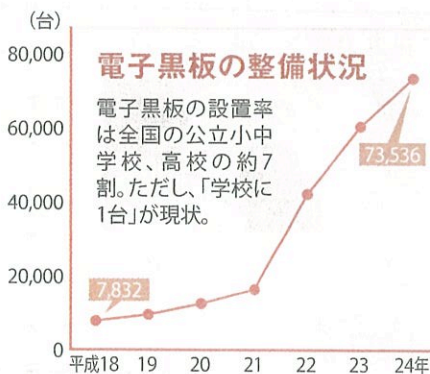
児童一人ひとりがタブレットPCを持ち、その画面に子どもたちが書き込んだ内容を先生が電子黒板に映し出し、みんなで意見を言い合う。そんな新しい形の授業の実践が進んでいます。国は、2020年を目標にデジタル端末を一人1台与え、授業で活用する計画です。

実は日本の教育のデジタル化は、世界から見るとずいぶん遅れをとっています。アメリカやヨーロッパ、台湾やシンガポールでもデジタル教材が使われています。お隣の韓国では、来年にはデジタル端末一人1台を実施する予定です。

全国で広がるデジタル教材 デジタルの良さを家庭でも体験を

デジタル教材についての子どもたちへのアンケートでは、「楽しい」が95%、「わかりやすい」が90%という結果が出ています。デジタル教材が、新しい学び方のヒントであることは確かです。視力への影響など、不安をもたれるかたもいらっしゃいますが、学習教材として安全、良質であることは最低限の条件です。ソフトや接続先を限定したり、使用ルールを決めたりなど、教師の目で管理することで安全は保てます。ご家庭でもパソコンや携帯電話などで地図や写真などの遊び、デジタルの良さを親子で体験してほしいと思います。

※文中に出てくる国名は略称です。



※各年とも3月調べ
※「平成23年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果」文部科学省より

デジタル教材を活用したこれからの力につながる例

- 共有する
児童一人ひとりの答えを、電子黒板に瞬時に映し出し、みんなで考え意見を言い合う。
- 表現する
理科で育てている植物の成長過程の写真を撮りコメントを入れ、最後にまとめて新聞をつくる。
- 情報を集める
知りたいことはすぐに調べる。世界中から情報を探したり、専門家にメールで問い合わせたりする。
- つながり合う
同じ目的をもつ他校の児童たちとつながり、情報を互いに共有し協力し合い、目的を達成する。
- 創造する
譜面の書き方がわからなくても、自分なりの表現でメロディーをつくりデジタル教材を使って演奏する。



コラム

◎学校・家庭ではこんな取り組みをしています

パソコンを使って調べ物をよくします。最近では絶滅動物など、写真つきですぐに調べられ助かります。
(神奈川県/なかみ)

学校ではパソコンでローマ字入力をしながら、作文を書く授業をしたようです。
(長野県/A's Mom)

「チャレンジウェブ」の計算コーナーで学習したり、学習プリントを印刷したりと、パソコンを使っています。
(神奈川県/ym1010)

これからの時代は、パソコンやタブレットPCなどを使うことが大切だと思うので、家庭でも機会あるごとに使わせています。
(愛知県/子育て奮闘ママ)

学校では、PCとテレビをつないだり、子どもたちが撮った写真をテレビに映したりと、いろいろな教科で使っているようです。
(埼玉県/にんにんびー)

チャレンジ通信 2年生
20/2.11月号